

南橘地区地域福祉活動計画

南橘地区

上細井町、下細井町、北代田町、下小出町、上小出町、龍蔵寺町、
青柳町、荒牧町、日輪寺町、川端町、田口町、関根町、川原町、南橘町



＜町の支え合い活動について
話し合う情報交換会の様子＞



＜人と人との交流の場のきっかけ作り
としてポッチャに取り組んでいます＞

「日常のつながりが、安心のまちづくりへ」
交流・地域の魅力・災害への備えを
皆で育てる

めざす地区の将来像

- ・誰もが気軽に関われる、思いやりと助け合いの地域
- ・世代や立場を越えてつながる、交流と居場所のある地域
- ・災害に備え、支え合いながら安心して暮らせる地域

地区の情報

南橘地区は、自然環境と都市機能が調和した地域です。

ほたるの自生地や赤城白川などの豊かな自然に囲まれながら、商業施設も点在し、日常生活の利便性が高いことが特徴です。

各町では防犯パトロール隊による見守り活動が日常的に行われており、安全・安心な地域づくりを進めています。

多くの町の公民館は午前中に開館しており、住民の身近な相談窓口としても機能しています。

また、地域の文化や自然を活かした活動により、世代を超えたつながりを目指しています。

地区の課題

地域活動の参加層の固定化

ふれあい・いきいきサロンや行事等の参加者が限られており、若年層や子育て世代の参加促進が求められている。

災害時の支援体制の強化

見守り活動が行われている一方で、大規模災害や避難時の対応など、住民の不安や備え不足の解消が求められている。

地域活動の担い手の拡充

担い手の発掘・育成による継続的な活動が求められている。

取り組むこと

多世代が参加しやすい地域活動の機会や 仕組みの検討

多世代が参加したいと思える交流や居場所づくりの企画・運営の支援

地域を支える新たな担い手の掘り起こしと育成

紙とデジタルで地区の情報を周知、参加のきっかけを作り、交流を通じて地域へのつながりを深めることで、町単位の活動（町社協等）を支える新たな担い手を育む

災害時に声をかけあい、 助け合える関係づくりの構築

自然豊かな地域から商業施設が点在する地域まで、それぞれの地域特性を踏まえながら、防災に関する情報発信や、日常的な声かけ・見守り活動を通じて、顔の見える関係づくりを継続